

第142回気象記念日について
- 「気象業務はいま2017」を刊行します -

平成29年6月1日(木)は、第142回気象記念日です。気象庁では、次の記念行事等を行います。

1. 第142回気象記念日式典を行います。式典の概要は別紙1-1、気象庁表彰受賞者は別紙1-2のとおりです。式典は報道機関に公開します(会場内での撮影が可能です)。
2. 「気象業務はいま2017」を刊行します。概要は別紙2-1のとおりです。

気象記念日は、明治8年(1875年)6月1日に気象庁の前身である東京気象台において気象と地震の観測を開始したことを記念して、昭和17年(1942年)に制定されました。

本件問い合わせ先：電話 03-3212-8341

式典関係 気象庁総務部総務課(内線2110)

表彰関係 気象庁総務部人事課(内線2133)

刊行関係 気象庁総務部企画課(内線2261)

第142回気象記念日行事予定

- 1 日 時 平成29年6月1日（木）14時00分～14時40分
- 2 場 所 気象庁講堂
- 3 式典次第

開式の辞

国歌斉唱

気象庁長官式辞

国土交通大臣あいさつ

国土交通大臣表彰

気象庁長官表彰

永年勤続職員へのお祝いの言葉

被表彰職員総代答辞

閉式の辞

平成 29 年 6 月 1 日付

第 142 回「気象記念日」気象庁表彰受賞者名簿

【国土交通大臣表彰】

一般功績

多年にわたり気象及び防災に関する知識の普及啓発活動を行い気象業務の理解増進に寄与した功績

番号	被表彰者名
1	公益財団法人広島市文化財団 広島市江波山気象館

委託観測所（地域・個人）

気象業務に対する深い理解のもとに多年にわたり東御地域気象観測所の委託観測業務に献身的に協力し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者名
1	小林 宗彦

委託観測所（航空）

気象業務に対する深い理解のもとに多年にわたり与論航空気象観測所の委託観測業務を遂行し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者名
1	与論町

船舶（気象通報）

気象業務に対する深い理解のもとに多年にわたり海上気象の観測通報を確実に励行し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者名	
	所属	船名
1	エム・オー・エル・エルエヌジー輸送株式会社	アル ワックラ

【気象庁長官表彰】

一般功績

新たな震源推定手法の開発により緊急地震速報の精度向上及び地震精密解析業務の改善に寄与した功績

番号	被表彰者名
1	京都大学防災研究所助教 山田 真澄

多年にわたり環境気象業務の推進に寄与した功績

番号	被表彰者名
1	東北大学名誉教授 中澤 高清

安全知識の普及啓発に寄与した功績

番号	被表彰者名
1	日本赤十字社 山口県支部
2	日本気象予報士会 西部支部

「教師による防災授業」のための教材作成と先駆的授業展開を通じた地震津波防災教育普及に寄与した功績

番号	被表彰者名
1	大阪市立真田山小学校

多年にわたり運輸多目的衛星新1号及び新2号の管制運用を行うことにより気象衛星業務の遂行に寄与した功績

番号	被表彰者名
1	国土交通省東京航空局 常陸太田航空衛星センター
2	国土交通省大阪航空局 神戸航空衛星センター

委託観測所（地域・個人）

多年にわたり地域気象観測所の委託観測業務に献身的に協力し気象業務の発展に寄与した功績

番号	観測所名	被表彰者名
1	しょさんべつ 初山別観測所	久米 充子
2	しらたき 白滝観測所	原田 重政
3	こがねゆ 小金湯観測所	武永 清蔵
4	さらべつ 更別観測所	丹後 陽子
5	ゆざわ 湯沢観測所	佐藤 信助
6	くざかい 区界観測所	杉下 武雄
7	もにわ 茂庭観測所	今野 秋子
8	おざわ 小沢観測所	大谷 智幸
9	みくら 三倉観測所	中野 清子
10	むまや 六厩観測所	穂波 久恵
11	じんやま 陣山観測所	藤堂 茂
12	ひわさ 日和佐観測所	清水 照男
13	かみはやし 上林観測所	杉木 栄
14	しげとう 繁藤観測所	福留 修
15	しもあざえ 下皆部観測所	平城 高雄
16	はつかいちつた 廿日市津田観測所	(氏名非公表)
17	ゆき 油木観測所	池田 晃章

委託観測所（地域・団体）

多年にわたり地域気象観測所の委託観測業務に献身的に協力し気象業務の発展に寄与した功績

番号	観測所名	被表彰者名
1	ながぬま 長沼観測所	空知南西部地区農業改良普及センター
2	ふかがわ 深川観測所	深川市農業センター
3	あしよろ 足寄観測所	足寄町長
4	まつまえ 松前観測所	渡島西部広域事務組合松前消防署
5	おくしり 奥尻観測所	檜山広域行政組合奥尻消防署
6	わきのさわ 脇野沢観測所	むつ市立脇野沢小学校
7	たねいち 種市観測所	洋野町
8	あじがさわ 鯉ヶ沢観測所	鯉ヶ沢町立西海小学校
9	おおがた 大潟観測所	公立大学法人秋田県立大学（大潟キャンパス）
10	しちのへ 七戸観測所	独立行政法人家畜改良センター奥羽牧場
11	やまがた 山形観測所	久慈市
12	えどさき 江戸崎観測所	稲敷市立江戸崎中学校
13	おばま 小浜観測所	福井県嶺南振興局
14	かみこうち 上高地観測所	上高地観光施設事業上高地アルペンホテル
15	ながたき 長滝観測所	郡上市長
16	たんざわこ 丹沢湖観測所	神奈川県企業庁酒匂川水系ダム管理事務所
17	ふちゅう 府中観測所	東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター
18	やつお 八尾観測所	富山市消防局八尾消防署
19	えな 恵那観測所	恵那市役所
20	うえのはら 上野原観測所	上野原市消防本部
21	きそひらさわ 木曽平沢観測所	塩尻市
22	おばら 小原観測所	豊田市役所小原支所
23	ふくさき 福崎観測所	姫路市
24	みき 三木観測所	三木市

25	あき 安芸観測所	安芸市立伊尾木小学校
26	わだやま 和田山観測所	南但消防本部消防長
27	えかわさき 江川崎観測所	四万十市立西土佐中学校
28	さいた 財田観測所	三豊市財田支所
29	なかつ 中津観測所	中津市消防本部中津市消防署
30	みすみ 三角観測所	宇城市長
31	くるめ 久留米観測所	久留米市中央浄化センター
32	きもつきまえだ 肝付前田観測所	肝付町役場
33	にしめら 西米良観測所	西米良村立ふたば園
34	かほく 鹿北観測所	山鹿市役所鹿北市民センター長

船舶（気象通報）

多年にわたり海上気象の観測通報を確実に励行し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者名	
	所属	船名
1	エム・オー・エル・エルエヌジー輸送株式会社	アル ワチバ
2	"K" LINE SHIP MANAGEMENT (SINGAPORE) PTE LTD	GEORGE WASHINGTON BRIDGE

船舶（表層水温）

多年にわたり海洋の表層水温の観測通報に積極的に協力し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者名	
	所属	船名
1	国立研究開発法人海洋研究開発機構	白鳳丸
2	国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所	若鷹丸

漁船

海上気象の観測通報に積極的に協力し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者名	
	所属	船名
1	福島県	いわき丸
2	島平第一漁業生産組合	第五松榮丸
3	神崎水産株式会社	第108幸榮丸
4	串木野まぐる株式会社	第六十八錦哉丸
5	まるわか水産株式会社	第八十二若潮丸
6	大栄水産株式会社	第八十一大栄丸
7	山田水産株式会社	第三山田丸
8	長運水産株式会社	第六長運丸

「気象業務はいま 2017」の刊行について

気象庁では、気象庁の取組の現状と今後の展望など、気象業務の全体像について広く国民の皆様にご覧いただくことを目的として、「気象業務はいま」を毎年6月1日の気象記念日にあわせて刊行しています。

今年の「気象業務はいま 2017」の主な内容は次の通りです。構成については「別紙 2 - 2」をご覧ください。

特集

気象庁の取組の中で特にスポットを当て内容を詳細に紹介するコーナーです。今回は特集 「防災意識社会を支える気象業務」として情報の充実強化や地域防災力強化の取組等を紹介しています。また特集 「社会の生産性向上に資する気象データとその利用の推進」として、気象ビジネス推進コンソーシアムの取組等について紹介しています。

トピックス

気象庁の最新の取組を紹介するコーナーで、主な自然災害への対応、地方公共団体の防災対策における気象予報士の活用、流域雨量指数等の災害発生と関連の高い指標の開発と情報の高度化、船舶の安全な航行等を支える情報の充実、地球温暖化予測情報、長期にわたる南極や温室効果ガスの観測などを紹介しています。

「気象業務はいま 2017」は、6月1日以降、全国の書店及び政府刊行物センターから注文販売で取り扱います。また、気象庁ホームページの「気象庁関連の刊行物・レポート」ページにも掲載します。

(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html>)

「気象業務はいま 2017」の構成

特集 防災意識社会や社会の生産性向上に資する気象情報

防災意識社会を支える気象業務

- 1 はじめに
- 2 気象分野における取組
 - (1) 防災気象情報の高度化と利活用の促進
 - (2) 気象観測・予測技術の向上
- 3 地震・津波、火山噴火への取組
 - (1) 地震対策
 - (2) 津波対策
 - (3) 火山対策
- 4 地域の防災力向上を支援する取組
 - (1) 地方公共団体の防災対策の支援
 - (2) 住民の防災力向上を図る取組
- 5 今後の取組に向けて

社会の生産性向上に資する気象データとその利用の推進

- 1 はじめに
- 2 産業界での気象データの活用状況
 - (1) ビッグデータ化する気象データ
 - (2) 先端技術を用いた気象データの活用事例
 - (3) 気象データの活用状況と課題
- 3 気象データの利活用促進による社会の生産性向上に向けた取組の推進
 - (1) 国土交通省生産性革命プロジェクト「気象ビジネス市場の創出」
 - (2) 気象ビジネス推進コンソーシアムの設立
 - (3) 気象データ利用環境の高度化
- 4 今後の取組に向けて

トピックス 自然のシグナルをいち早く捉え、迅速にお伝えするために

- 1 相次ぐ台風の襲来（台風第 10 号等）
- 2 地方公共団体の防災対策支援のための気象予報士活用モデル事業
- 3 災害発生と関連の高い指標の開発と危険度分布の提供開始
- 4 台風進路予報の改善
- 5 竜巻注意情報の改善
- 6 船舶の安全な航行を支援する情報の充実
- 7 数値予報の幅広い利用に向けたシンポジウムの開催
- 8 相次ぐ被害地震
- 9 緊急地震速報の新しい予測手法の開発
- 10 常時観測火山の追加と噴火警戒レベル判定基準の公表
- 11 口永良部島における地域に密着した火山防災の取組

トピックス 長期の監視から地球の今を知り、将来に備えるために

- 1 地球温暖化予測情報第 9 巻の刊行
- 2 南極昭和基地開設 60 周年
- 3 30 周年を迎えた気象庁の大気中の温室効果ガス観測

第1部 気象業務の現状と今後

- 1章 国民の安全・安心を支える気象情報
- 2章 地震・津波と火山に関する情報
- 3章 地球環境に関する情報
- 4章 航空の安全などのための情報
- 5章 民間の気象事業
- 6章 住民への安全知識の普及啓発に関する取組

第2部 気象業務を高度化するための研究・技術開発

- 1章 大気・海洋に関する数値予報技術
- 2章 新しい観測・予測技術
- 3章 地震・津波、火山に関する技術開発
- 4章 大学や研究機関と連携した研究・技術開発

第3部 気象業務の国際協力と世界への貢献

- 1章 世界気象機関（WMO）を通じた世界への貢献
- 2章 国連教育科学文化機関（UNESCO）を通じた世界への貢献
- 3章 国際民間航空機関（ICAO）を通じた世界への貢献
- 4章 国際的な技術開発・研究計画との連携
- 5章 開発途上国への人材育成支援・技術協力について

第4部 最近の気象・地震・火山・地球環境の状況

- 1章 気象災害、台風など
- 2章 天候、異常気象など
- 3章 地震活動
- 4章 火山活動
- 5章 黄砂、紫外線など

参考資料

全国気象官署等一覧、用語集、索引